

いちはら 社協だより



社協だより5/20、1/20発行号は、町会長の皆様にご協力いただき町会回覧にて世帯配付しています。

【発行】市原市社会福祉協議会 〒290-0075 市原市南国分寺台4-1-4 TEL.0436(24)0011 FAX.0436(22)3031

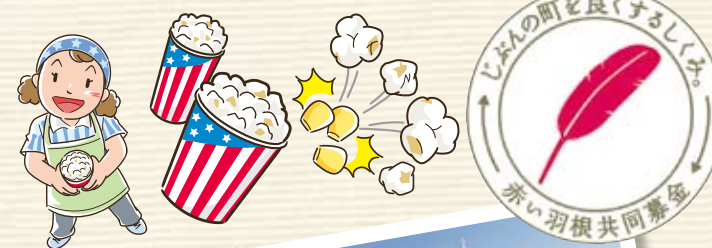
国府まつり に参加しました!

千葉県共同募金会市原市支会では、第5回上総いちはら国府まつりに参加し、「街頭募金」と「ポップコーン」&「飲み物」の販売をしました。

また「街頭募金」には、京葉高校の生徒さんにボランティアとして協力いただきました。強風のため、一日のみの参加でしたが、皆さまのご協力ありがとうございました。

実 績	
募 金 額	36,225円
ポップコーン&飲み物	84,500円
合 計	120,725円

※この売り上げは、全て共同募金として千葉県共同募金会へ送金させていただきます。



あけましておめでとーございませう。皆さまには、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年中は、本会事業の推進にあたり格別のご厚情とご尽力を賜り、深く感謝申し上げます。本年も、皆さまと協働で地域福祉の推進に邁進して参りたいと存じますので、皆さまのご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

平成二十八年 元旦

社会福祉法人市原市社会福祉協議会

会長 深谷みどり

会長あいさつ



街頭募金の様子



祝

福祉功労者表彰

多年にわたり社会福祉の発展に功績のあった方が表彰されました。永年のご労苦に心から敬意を表するとともに感謝を申し上げます。

なお、本市関係者の受賞者は次のとおりです。(順不同、敬称略)

【全国社会福祉大会】厚生労働大臣表彰

市津地区民生委員児童委員協議会

【千葉県社会福祉大会】千葉県知事表彰

社会福祉施設職員及び社会福祉事業団体役員
平野 修夫

千葉県社会福祉協議会会長表彰

《民生委員・児童委員功労者》
木村 文子
小竹 淳子
《社会福祉施設・団体関係職員功労者》
佐川 弥生
宮原 かつ子
泉 水陽子
岩井 美代子
森 信子

《社会福祉施設・団体関係職員功労者》
吉田 昌子
堀金 兼太郎
長 尾 篤
宮崎 理
宇田川 千佐子
大塚 順子
齋藤 純子
池座 知砂子
白鳥 陽子

千葉県共同募金会会長表彰

共同募金優良支会
千葉県共同募金会 市原市支会

いちはらスマイルカンパニー(市原市障がい者雇用推進事業所)の表彰



表彰式:平成27年11月8日開催

市原市では、障がい者の雇用促進及び就業の安定を図るため、障がい者雇用に積極的に取り組み、障がい者が働きやすい職場環境に努めている従業員50人未満の事業所を「いちはらスマイルカンパニー」として表彰しています。平成27年度は、ラーメン店「ちばから」を運営されている株式会社ゴットンを表彰しました。

【事業所名】株式会社ゴットン
【代表取締役】長谷川 誠一
【所在地】市原市西国分寺台1-3-16
【業 種】飲食業
【従業員数】4名(うち、障がい者1名)



雇用継続への主な取り組み

- 障がい者就業・生活支援センターと連携した業務指導。
- 特別支援学校等、要望に応じて職場見学、職場実習生の受け入れを実施。

ありがとう

(7月~11月)(敬称略)

- 匿名 光風台在住 50,000円
- 匿名 若宮在住 15,000円
- 匿名 草刈在住 1,000,000円
- 市原南ライオンズクラブ 50,000円
- 千葉よみうりカントリークラブ 59,348円
- 白金町ふれあい祭り実行委員会 15,790円
- 高橋千聖 車椅子
- 明治安田生命市原北営業所 雑巾200枚

新春 サンハートまつり

日時 1月24日(日) 10時~
会場 サンハート(三和保健福祉センター)
問合せ TEL 37-7100

様々なイベントが盛りだくさん! 皆様のお越しをお待ちしております。

賛助会員のみなさま ありがとうございました

皆さまから寄せられた会費は、地域福祉活動を展開するための貴重な財源として大切に使用させていただきます。ご協力ありがとうございました。

平成27年度
賛助会費総額

4,693,100円

平成27年11月30日現在

各地区の民生児童委員の方々のご協力により市民の皆様から寄せられた地区別の金額

No.	地区民児協名	会員数(名)	金額(円)
1	姉崎地区	163	316,000
2	五井地区	302	476,000
3	国分寺台地区	163	218,000
4	市原地区	159	339,000
5	辰巳台地区	102	244,000
6	市津地区	471	542,000
7	三和地区	257	434,000
8	南総地区	751	978,100
9	加茂地区	134	215,000
10	有秋地区	49	99,000
11	ちはら台地区	84	116,000
合 計		2,635	3,977,100

社協を構成する団体等(本会役員・評議員選出母体)に所属される皆様よりご協力いただいた金額

組織・団体名	金額(円)	組織・団体名	金額(円)
姉崎地区社会福祉協議会	3,000	更生保護女性会	32,000
五井 "	81,000	薬剤師会	12,000
有秋 "	16,000	知的障害施設連協	10,000
五井地区町会	1,000	市高齢者福祉施設連協	10,000
辰巳台 "	1,000	市原市臨海部工場連絡会	20,000
市津 "	2,000	農業協同組合	10,000
三和 "	1,000	市原市老人クラブ連合会	30,000
有秋 "	2,000	遺族会	14,000
ちはら台 "	1,000	市原ライオンズクラブ	10,000
子育て支援員協議会	22,000	ボランティア連絡協議会	10,000
青少年相談員連協	1,000	心身障害福祉団体連協	30,000
青少年補導員連協	7,000	NPO連絡協議会	10,000
保護司会	50,000	団体に所属しない	5,000
合 計			391,000
そ の 他		金額(円)	325,000

地域福祉活動の紹介

日常生活支援事業



三和の地域ですっと暮らし続けたい!

少子高齢化が急速に進行する中、三和地区においても、高齢化率が30%を超え、中でも一人暮らし高齢者世帯が増加してきている状況にあります。三和地区社会福祉協議会では、平成25年10月に地域の方々を対象とした「地域福祉に関するアンケート調査」を実施し、アンケート結果から見えてきた日常生活上の課題や今後ますます進行すると思われる少子高齢化に対応していくため、平成27年4月より「たすけあい三和」を開始しました。

「たすけあい三和」とは

「住み慣れた三和の地域ですっと暮らし続けたい」これに応えて「地域社会の支え合いの仲間づくり」を目的に実施する住民参加型の有償ボランティアサービスです。(作業料金は1時間あたり800円)現在は、利用会員71名、支援会員71名、コーディネーター11名、地区社協スタッフ15名で活動しています。



これまでの6ヶ月間における活動状況は、利用者(依頼)は46件、支援者151人、活動内容は、主に植木の剪定・草取りです。

利用会員Aさん

寝たきりのため、草取り・植木の剪定を依頼しました。家から庭を眺めると、これまでうっとうしい景色でしたが、今は庭木・草木が風にふかれ色のコントラストまで眺められて有り難い。



支援会員Aさん

作業を終えた後、利用会員から両手を挙げて「ありがとう又来てね」といって見送ってくれた。支援会員冥利に尽きました。



利用会員Bさん

庭の草取り・物置きの片付けをお願いした日は、猛暑日でした。にもかかわらず支援会員の細やかな気遣いをしながらの仕事をしていただき、とても良かった。



支援会員Bさん

聴覚障害を持っている利用会員と筆談での仕事の打ち合わせをしたりして、勉強させていただき、やりがいを感じました。



今後の取り組みについて

「たすけあい三和」は、今後も地区内に設置されている4つの小域福祉ネットワーク(市西、海上、養老、光風台)と連携・協働しながら、「誰もが住み慣れた地域で暮らせるまちづくり」(地域コミュニティ)を積極的に進め、地域の方々が生み出した三和ですっと暮らし続けたいと活動を進めて参りたいと考えています。

活動メニュー(例) 家庭の周りでの仕事

部屋そうじ、物置そうじ、障子はり、家具の移動、照明器具取替え等

問合せ先

たすけあい三和事務局

(月・水・金 9:00~14:00)

電話:070-5452-8333

安心生活見守り支援事業



安心生活見守り支援事業とは

「悲惨な孤独死、虐待などを発生させない地域づくり」を基本理念とし、一人暮らし世帯等への見守りを行うことにより、一人暮らし世帯等が地域で安心して暮らせるための支援を市内の小域福祉ネットワークが中心となって行っています。

現在市内の22小域福祉ネットワークで実施されています。

問合せ先

- 安心生活見守り支援事業に関する問合せ先
市原市社会福祉協議会 電話:24-0011
- わかば福祉ネットワークに関する問合せ先
市民活動センター 電話:20-3100

わかば福祉ネットワークの取り組み

「わかば福祉ネットワーク」では、平成25年度より、一人暮らし及び高齢者及び高齢者のみ世帯を定期的に訪問し、声かけや安否確認などを行う「安心生活見守り支援事業」に取り組んでおり、現在では13名の方々を対象に15名の安心訪問員が活動を行っています。

ネットワーク推進委員のほか、ネットワーク活動を支援していただいている協力員の方々にも安心訪問員に登録してもらっており、また、一目見て安心訪問員と分かるように揃いのユニフォームを着用して活動に取り組んでいます。

訪問対象者は、民生委員・児童委員による意向調査、町会回覧、サロン参加者への声かけなどで募っています。

見守り対象者からの声 VOICE

「いつも明るい笑顔で、元気をもらっている」「話を聞いてくれる人がいることはうれしい」「ネットワークの行事(茶話会)などを教えてもらい、参加するようになった。とても楽しい。友達もできた」



今後も、一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の方々が生み出した地域で安心して暮らせるよう、「わかば福祉ネットワーク」はこの取り組みを進めていきます。